

おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 68

25.4.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505



南 小 学 校

4月8日、開校式・入学式が行われ、南部地域の新しい小学校として南小学校の歴史がスタートしました。南小学校は、それぞれ140年近い歴史をもつ南部地域の4つの小学校（塩殿小学校・川井小学校・岩沢小学校・真人小学校）が統合された小学校です。

15名の新入生を迎え、全校児童114名でスタートしました。南中学校と同じ校舎内に設置され、玄関入ってすぐの所には統合された4つの小学校の歴史を知ることのできる校歴展示コーナーもあります。今後、南部地域に根ざした特色ある教育が期待されます。

- 第1回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P3～5
- 一般質問 …… P5～7
- 行政視察報告 …… P7～8
- 議会日誌 …… P8
- 雪あかり・編集後記 …… P8

—主な掲載内容—

第1回定例会 議決結果

2月27日から3月19日まで開催し、次のとおり議決いたしました。

条例の制定・改正・廃止

- 小千谷市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市道路の構造の技術的基準等に関する条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市災害時における相互支援に関する条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市新型インフルエンザ

等対策本部条例の制定

(全会一致)

- 小千谷市職員の再任用に関する条例の制定 (全会一致)

- 小千谷市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正 (起立多数)

- 小千谷市税条例の一部改正 (起立多数)

- 小千谷市国民健康保険税条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市立学校使用条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市勤労青少年ホーム設置条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市立保育所条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市へき地保育所条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市障害者介護給付費等支給審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市道路占用料等徴収条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市都市公園条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市営住宅条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市営住宅条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市営特定公共賃貸住宅条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市水道条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市下水道条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市職員の退職手当に関する条例等の一部改正 (起立多数)

- 小千谷市職員の再任用に関する条例の制定に伴う関係条例の整備 (全会一致)

- 小千谷市公平委員会の廃止に伴う関係条例の整理 (全会一致)

- 小千谷市公平委員会設置条例等の廃止 (全会一致)

- 小千谷市母子生活支援施設条例の廃止 (全会一致)

平成25年度予算

- 小千谷市一般会計予算 (起立多数)

- 小千谷市国民健康保険特別会計予算 (起立多数)

- 小千谷市介護保険特別会計予算 (起立多数)

- 小千谷市後期高齢者医療特別会計予算 (起立多数)

- 小千谷市工業団地事業特別会計予算 (全会一致)

- 小千谷市ガス事業会計予算 (起立多数)

- 小千谷市水道事業会計予算 (全会一致)

- 小千谷市工業用水道事業会計予算 (全会一致)

- 小千谷市下水道事業会計予算 (全会一致)

平成24年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算 (第8号) (全会一致)

- 小千谷市一般会計補正予算 (第9号) (全会一致)

- 小千谷市ガス事業会計補正予算 (第3号) (全会一致)

- 小千谷市ガス事業会計補正予算 (第4号) (全会一致)

- 小千谷市水道事業会計補正予算 (第3号) (全会一致)

平成25年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算 (第1号) (全会一致)

- 小千谷市ガス事業会計補正予算 (第1号) (全会一致)

- 小千谷市水道事業会計補正予算 (第1号) (全会一致)

その他

- 専決処分(平成24年度小千谷市一般会計補正予算(第6号)) (全会一致)

- 専決処分(平成24年度小千谷市一般会計補正予算(第6号)) (全会一致)

- 市一般会計補正予算(第7号) (全会一致)

- 専決処分(新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更) (全会一致)

- 小千谷市財政調整積立金の処分 (全会一致)

- 定住自立圏形成に関する協定の変更 (全会一致)

- 公共施設の相互利用に関する協定の変更 (全会一致)

- 魚沼地区障害福祉組合規約の変更 (全会一致)

- 小千谷市営土地改良事業(災害復旧)の施行 (全会一致)

発議

- 小千谷市議会委員会条例の一部改正 (全会一致)

- 小千谷市議会会議規則の一部改正 (全会一致)

会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。(平成25年第1回定例会の会議録掲載は、5月末頃となります。)

URL
<http://www.city.ojiya.niigata.jp>

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案24件の内、20件は総務文教委員会単独で、4件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第16号 小千谷市災害時における相互支援に関する条例の制定について

本案は、災害時における市区町村間の相互の支援に関する基本的事項を定め、実効性のある支援の実施、また、当市の災害対応力を高めることを目指して、条例を制定するものです。

○議案第17号 小千谷市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

本案は、新型インフルエンザ等対策特別措置法が制定されたことに伴い、新型インフルエンザ等対策本部の設置等に関し必要な事項を定めるものです。

○議案第18号 小千谷市職員の再任用に関する条例の制定について

本案は、定年後も引き続き働く意欲と能力を持つ定年退職者

等の職員の再任用に関し必要な事項を定めるものです。

○議案第19号 小千谷市職員の再任用に関する条例の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

本案は、小千谷市職員の再任用に関する条例の制定に伴い、関係する5条例をあわせて改正するものです。

○議案第21号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、東日本大震災からの復興に関し、地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る、地方税の臨時特例に関する法律が公布されたことに伴い、個人市民税の均等割を改正するものです。

○議案第23号 小千谷市立学校使用条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、南部地区の4小学校の閉校に伴い、運動場使用料を改正するものです。

○議案第24号 小千谷市勤労青少年ホーム設置条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、有効活用を図るため、使用料及びその還付並びに使用時間について改正するものです。

○議案第28号 小千谷市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正に伴い、廃棄物処理施設の技術管理者の資格について定めるものです。

○議案第33号 小千谷市水道条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、水道法の改正に伴い、水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準等について定めるものです。

○議案第34号 小千谷市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、下水道法の改正に伴い、公共下水道の構造の技術上の基準について定めるものです。

○議案第38号 平成24年度小千谷市一般会計補正予算(第8号)について

本案は、歳入歳出それぞれ、6億9352万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ184億5013万6千円とするものです。

○議案第39号 平成24年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第3号)について

本案は、天然ガス価格の高騰による購入費等の増や需要工事の増に伴う増額補正をするものです。

○議案第1号 平成25年度小千谷市一般会計予算について

平成25年度小千谷市一般会計予算は歳入歳出それぞれ187億2千万円とするものです。

○議案第6号 平成25年度小千谷市ガス事業会計予算について

本案は、予算規模で前年度に比較して3・4%の増額、収益的収入及び支出の収支差引額は913万円を見込んでおり、主要な事業としては、経年管の計画的な布設替えや耐震化を進めるための布設替工事等が計上されております。

○議案第7号 平成25年度小千谷市水道事業会計予算について

本案は、予算規模で前年度に比較して2・8%の増額、収益的収入及び支出の収支差引額は5751万7千円を見込んでおり、主要な事業としては、基幹配水管の布設替えや管路耐震化を進めるための工事等と浄水場更新の基本設計業務が計上されております。

○議案第8号 平成25年度小千谷市工業用水道事業会計予算について

ついて

本案は、予算規模で前年度に比較して5・6%の減額、収益的収入及び支出の収支差引額は3955万9千円が計上されております。

○議案第9号 平成25年度小千谷市下水道事業会計予算について

本案は、予算規模で前年度に比較して0・9%の減額、収益的収入及び支出の収支差引額は1億4278万円が計上されております。

○議案第46号 平成25年度小千谷市一般会計補正予算(第1号)について

本案は、歳入歳出それぞれ4億821万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ183億1178万9千円とするものです。

○議案第47号 平成25年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)について

本案は、平成24年度予算に繰り上げて計上する水道事業と同時施工をするため補正減額するものです。

○議案第48号 平成25年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)について

本案は、国の緊急経済対策により平成24年度予算に繰り上げて計上するため、補正減額するものです。

○議案第49号 平成24年度小千谷市一般会計補正予算(第9号)について

本案は、歳入歳出それぞれ7億3920万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ19億8933万6千円とするものです。

○議案第50号 平成24年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第4号)について

本案は、平成25年度予算から繰り上げて実施する水道事業と同時施工をするため、補正増額するものです。

○議案第51号 平成24年度小千谷市水道事業会計補正予算(第3号)について

本案は、国の緊急経済対策により、平成25年度予算から繰り上げて実施するため、補正増額するものです。

○議案第52号 小千谷市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
本案は、国家公務員の退職給付の給付水準の見直し等のための国家公務員退職手当法等の一

民生産業委員会

部改正に伴い、職員の退職手当額の引き下げを行うものです。

本委員会に付託されました議案17件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第12号 小千谷市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定について

本案は、介護保険法の改正がなされ、指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する基準のうち、指定対象となる施設及びその入所定員に係る基準並びに事業申請者の資格について定めるものです。

○議案第13号 小千谷市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

本案は、介護保険法の改正がなされ、指定地域密着型サービスの事業等に関する基準について定めるものです。

○議案第14号 小千谷市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果

的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

本案は、介護保険法の改正がなされ、指定地域密着型介護予防サービスの事業等に関する基準について定めるものです。

○議案第15号 小千谷市道路の構造の技術的基準等に関する条例の制定について

本案は、道路法及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正がなされ、基準等を市条例で定めるものです。

○議案第22号 小千谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国民健康保険税の普通徴収の期割額の平準化を図るため、端数処理の規定を改正するものです。

○議案第25号 小千谷市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地域主権改革一括法の施行に伴い、引用法令の名称を改正するものです。

○議案第26号 小千谷市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地域主権改革一括法の施行に伴い、引用法令の名称

及び字句を改正するものです。

○議案第27号 小千谷市障害者介護給付費等支給審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、障害者自立支援法の一部改正に伴い、引用法令の名称を改正するものです。

○議案第29号 小千谷市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、道路法施行令の改正に伴い、引用する条項を改正するものです。

○議案第30号 小千谷市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、都市公園法及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正に伴い、設置基準及び施設整備基準を定めるものです。

○議案第31号 小千谷市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、公営住宅法の改正に伴い、整備基準及び入居収入基準を定めるものです。

○議案第32号 小千谷市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、日吉団地特定公共賃

貸住宅の家賃を改正するものです。

○議案第37号 小千谷市母子生活支援施設条例を廃止する条例の制定について

本案は、平成25年3月31日をもって母子生活支援施設を廃止するものです。

○議案第2号 平成25年度小千谷市国民健康保険特別会計予算

前年度に比較して2・2%の増となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ39億7532万7千円とするものです。

○議案第3号 平成25年度小千谷市介護保険特別会計予算について

前年度に比較して5・3%の増となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ37億5427万6千円とするものです。

○議案第4号 平成25年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

前年度に比較して0・2%の増となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億2358万5千円とするものです。

○議案第5号 平成25年度小千谷市工業団地事業特別会計予算

前年度に比較して7・8%の減となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ692万6千円とするものです。

市政の内容を聞く

一般質問

茶郷川の洪水対策について

柳田 宏光 議員

茶郷川の洪水対策で最も重要なことは、上流にて行うべきと思う、現在考えられている放水路計画は、見直すべきと思うが市の考えを伺いたい。

質問 ①市は、下流に対策協議会を作られたが、下流の対策のみで、茶郷川の洪水問題が解決すると考えているのか。②中流の洪水対策はどのように考えているのか。③放水路は、上ノ山から四ツ子の中間より地下隧道で山本大橋付近に放水し、その中間で湯殿川の放水も合流すべきと思うが、市長の考えをお伺いする。④現在市の考えている、

洪水対策をお伺いする。

答弁 ①下流から手がけることが一般的だが、下流対策のみで解決するとは考えていない。②全川を見直し総合的な洪水対策が必要と考える。③茶郷川整備計画を作成するには、まず沿川関係者の合意が最優先であり、その後、放水路計画も含め改めて検討のテーブルに載せる。千谷川地区が輪中構造になり湛水被害を受けるといいますが、三古用水に排水することで解消できると思う。田んぼダムは、計画通り進んでいる。



高畑地区

財政運営の見通し等について

山賀 一雄 議員

質問 ①義務的経費比率、経常収支比率はどのように推移すると見込んでいるか。②市債償還のピークは何年度で、残高はいくらか。③市債償還時に交付税措置があるとしても大半が市の一般財源で、他の事業が圧縮さ

れる恐れがあるが、財源確保はどう考えているか。④実質公債費比率はどのように推移すると見込んでいるか。⑤財政調整基金残高はどのように推移するか。また市債残高との兼ね合いから財政の健全化は今後とも維持できるのか。

答弁 ①義務的経費は、歳出総額の増減の影響もあるが、概ね同程度の水準で推移するものと見込んでいる。また、経常収支比率は、市税等の大幅な増額が見込みづらい状況であるが、常に留意して財政運営に努める。②臨時財政対策債を含む市債の発行額を26年度20億円、27年度以降15億円と仮定した場合、ピークは平成38年頃で残高は182億円程度の見込みである。③健全財政の維持において、歳出予算の節減などに努め、実質公債費比率を常に一定水準以下に抑制し、他の事業に悪影響を与えぬように努める。④実質公債費比率平成23年度決算では、前年度から1・3ポイント下降したが、学校や市庁舎の耐震化などによる上昇要因があり、今後数値は23年度決算を上回ると見込んでいる。⑤特段の事情もなく基金の取崩しが恒常化することがな

いように、柔軟性と持続性を有する財政構造を構築するように努める。

小千谷病院跡地有効活用・防災公園について

久保田陽一 議員

質問 病院統合支援室・小千谷総合病院跡地有効活用について①病院統合支援室の今までの業務と今後の業務は。②小千谷総合病院の跡地有効活用をどのように進めていくのか。③市民の声が反映できる病院跡地活用特別委員会設置の考えは。④本町商店街及び町内会との意見交換は行っているのか。また、今後行う予定は。

答弁 ①新病院建設に向け県及び関係機関との協議を行い、主に建設用地の選定に関する情報提供などの支援を行う。今後は法律に基づいた諸手続きの支援と新病院の機能について両病院等と協議を行う。②中心市街地の空洞化を招かぬよう、都市計画マスタープランとも整合性を図りながら検討していきたい。③議員とも協議を行うとともに市民の声を聞くことができるよう検討していきたい。

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後から、この本会議の会議録が市議会ホームページに掲載されるまで間ご覧いただけます。)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

質問

防災公園について

①防災公園のここまでの経緯は。②防災公園の整備理由、目的は。③防災公園完成年度も含めた今後のスケジュールは。

答弁

①23年度に大規模災害時に応急仮設住宅用地の利用を視野に入れた防災公園の整備をすることとして旧北陸農業試験場跡地を購入。24年度は不整形な部分の隣接民有地を購入する予算を計上。②大規模災害時の小千谷市全体の防災拠点施設



として多目的広場などの面的整備、備蓄倉庫やトイレなどの施設整備、気象観測の継続などを想定して購入。東小千谷のまちづくりで重要な役割を果たす。

③表沢川改修計画、都市計画の見直しなどと歩調を合わせながら整備計画の練り直しが必要。

地域医療問題と空き家・廃屋対策について

田中 淳 議員

質問 ①新潟県の地域医療再生計画に統合病院の掲載される見込みについて。②本市の中越医療圏への帰属変更の見通しと時期について。③統合病院の医療機関としてのあり方、病院統合協議会での動きと、病院統合に向けて現在の進捗状況について。

答弁 ①平成23年度に新潟県の地域医療再生計画として県全体の医療計画をたてている中で、この統合病院への助成ができないかということも掲載を要望してきしたが、合意されたものでないとして掲載されなかった。現在、県から3月末迄に事業提案がないかと照会がきている。今後は厚生連と協議した中で対処していく。②魚沼圏域から中越圏域への帰属



変更は本年第1回県議会において条例の一部改正が上程されており、本年4月1日より中越圏域に変更される見通し。③高度・専門医療については、長岡市内の3病院及び魚沼基幹病院との連携する中で、地域医療の充実が図れるよう検討しているところ。

質問 空き家・廃屋に対する今後の施策について。

答弁 平成23年第4回定例会より、空き家対策の条例化について先行事例等を研究してきた。平成24度に入り、積雪地域を中心に条例の制定の動きが多く見られており、見附市が昨年10月、魚沼市が昨年の11月、長岡市が昨年の12月に「空き家等の適正管理に関する条例」を施行している。当市としては、今後他市町村の条例の効果等を検証した上で検討していきたい。

生活保護基準引き下げについて

風間 健一 議員

質問 安倍自公政権は、生活保護基準を引き下げ670億円の削減を決めた。生活保護基準引き下げは、地域最低賃金、個人住民税の非課税限度額、医療や介護費等の減免など低所得者への数多の支援制度の基準に連動し、国民生活も切り下げる。国に生活保護基準の引き下げをしないよう要請していただきたい。

答弁 国に引き下げ中止は求めません。

質問 生活保護基準が引き下げられると就学援助の所得基準も引き下げられるが、引き下げないでいただきたい。また就学援助の申請を教育委員会へ提出できるようにしていただきたい。

教育長答弁 平成25年度の就学援助基準は引き下げません。また申請書は教育委員会でも受け付けている。

質問 「貧困の連鎖」を断ち切るため、生活保護世帯の小中学生を対象とする国の「学習支援事業」がある。実施しているところでは「経済的に学習塾にやれないので、学習支援はありがたい」など保護者の声も寄せられている。県内では新潟市、三条市、長岡市で行っている。小千谷市でもやっていただきたい。

答弁 対象となる児童数の動向を見ながら事業への取り組みについて考えていきたい。

質問 子ども医療費助成は、県内30市町のうち既に20市町が中学卒業まで拡充している。県に人数に関わらず中学卒業まで拡充するよう要望していただきたい。また市独自に中学卒業まで拡充していただきたい。

答弁 県に要望する。市独自の拡充は今は考えていない。



浄水場汚泥、焼却灰等の処分及び最終処分場について

風間 順一 議員

質問 浄水場から排出される汚泥の量とセシウム濃度は。

答弁 水道で年間500トン程度、工業用水道で700トン程度発生している。セシウム濃度については平成23年8月に



工業用水道浄水場

降発生した汚泥については1kg当たり100ベクレル以下となっている。100ベクレルを超える浄水汚泥はトンパック詰め99袋である。

質問 県や東電に対して処分費用や保管経費の賠償アクションを起こすべきではないか。

答弁 原発事故に由来して発生した費用については、23年11月までは東電より入金済、その後の24年3月までの費用については請求しており今後入金の予定。4月以降の費用については東電と協議を進めながら今後、請求の予定。保管しているトンパック詰99袋の処分については、今後、県の方向性を確認した上で処分方法を検討する。クリーンスポット大原に埋立て処分はない。

質問 時水清掃工場の焼却灰の処分について他県の民間業者にお願いしているが将来にわたってこのままいいのか。

答弁 大原と同程度の処分場を建設する場合、40億から50億の事業費が必要となり、現在委託している処理費用から試算すると約80年分の処理委託が可能となる。現行の処理方法が最良と考えている。

質問 最終処分場の埋立て状況
水質検査、新処分場の建設は。

答弁 貯水池として、第3区画を除く残りの埋立容量は、約1万6300㎡。現在のような使用状況なら100年大丈夫、水質検査に異常はない。

お年寄り見守り協定、特別支援学校について

阿部 正行 議員

質問 お年寄り見守り協定について

①糸魚川市のように高齢者に接する事業所に見守りを頼むつもりがあるのかどうか。

②こういう協定は県と新聞販売店とで結んでいるが実態は。

③安心安全な町を目指して各地域への働きかけは。

④ガスなど検針に際し異常を感じたときの通報の必要性について

答弁 ①新潟県では日報販売店やコープにいがた等で協定を結んでおり、それを最大限活用し、提案については検討する。

②日報販売店と県民生児童委員協議会で平成20年に協定を締結し異変を察知したときは地区の民生委員に連絡支援するとなっているが、今まで当市では該当

はない。

③各地域の民生委員には研修会等を通じて、町内会には介護予防説明会等を通じて連携をはかる。

④ガス水道局等で協議し必要な連絡体制は構築している。

質問 市立特別支援学校について

①予測される人数把握について

②教員配置について

③日中一時支援について

④クラインガルデンとの双方利用について

⑤高等部卒業生の自立について

答弁 ①本年度の就学指導委員会で調査した想定の数で来年度早々保護者に説明し個々に面談する。

②小中普通学級で2名、高等部で3名以下の配置になる。

③事業所の意向調査をし保護者の希望を聞き協議したい。

④提案を検討したい。

⑤大変厳しいができるだけ希望に添えるよう各団体と協議する。

病院統合・雪害・市長交際費について

長谷川有理 議員

質問 新病院での医師・看護師

確保に市としても責任があるのではないかと。

答弁 厚生連が主体で行うが要請があれば市も関係大学に協力いただけるようお願いする。

質問 医師不足解消に伴う県行政との連携や県からの支援策として市への予算支援等の積極的な働きかけはあるのか。

答弁 努力する。

質問 国の示す高齢化・過疎化の進む地域除雪活動政策を当市でも導入し地域コミュニティの課題解決を図るべき。

答弁 今ある制度の改善・拡充で十分である。

質問 空き家条例や解体補助制度の導入を検討すべきでは。

答弁 財産権や固定資産税、個人情報や公平性・実効性の問題もあり今後、検討していく。

質問 お中元・お歳暮・年賀状購入を市長交際費として計上している意味は何か。市民に対して説明責任が果たせないのでは。

答弁 市政の円滑な執行を図るため市を代表しての支出。社会



危険も伴う雪下ろし作業

通念上の範囲内と考える。

質問 副市長交際費も公開すべきではないか。

答弁 市長交際費に含まれる。

質問 他市では市長交際費にお中元・お歳暮・年賀状購入の支出は見受けられない。市民に誤解を与える支出は慎むべき。

答弁 お中元まで公開しているので当市は透明性が高い。

質問 お中元・お歳暮の届け先はどこか。

答弁 市外の方が、情報公開条例によって相手の個人名は公開しない。

行政視察報告

議会運営委員会

平成24年11月19日～20日

議会基本条例、代表質問について

石川県加賀市 富山県小矢部市

【議会基本条例について】議会改革の手法としているものが議会基本条例の制定と言われており、その流れは全国的な傾向にある。基本条例の一般的

なメニューの中に、議会の在り方を問い直す要素も含まれていることから議会改革を進める手法の一つと言える。特に、議会報告、反問権などこれまでの議会改革のメニューにあまり挙がっていない項目が、合議制代表機関である議会の任務として文言で明示、制度化されることが大きい。

条例制定の大半が、一問一答方式、反問権、議会報告会いわゆる三点セットで条例化しているが、条例化だけが目的ではなく、議会、議員各自が二元代表制の一方である市議会という機関をどう認識し、どのように基本条例を使いこなすかにかかっていると改めて感じた。二元代表制の機関として市民に対して責任を負う立場にあることも認識しなければならない。

【代表質問について】

小矢部市では、3人以上の会派3つと1人会派が1つで定例会毎に代表質問と一般質問を行っており、質問がバッティングすることもありますが基本的に事前調整はしていない。政令指定都市や、定住自立圏の中核都市のような程度度の財政規模のある自治体でない、一般質問と代表質問との区分がつけにくいように

議会日誌

1月～3月

1月

8日 議会報編集委員会
8日 議会報編集委員会
15日 議員協議会
18日 議員協議会
28日 三重県鈴鹿市議会行政視察に来市

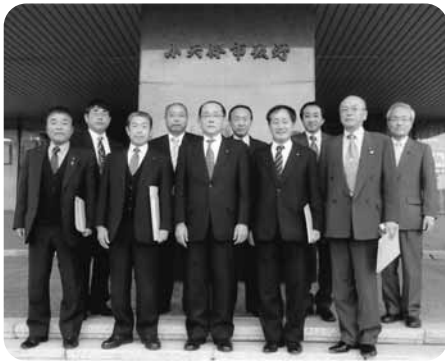
2月

6日 議員協議会
12日 県市議会議長会理事會・春季定期総会（魚沼市）
15日 議員協議会
18日 全国高速自動車道市議会議事會・定期総会（東京都）

20日 議会運営委員会
25日 東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所視察（柏崎市・刈羽村）

3月

1日 常任委員会連合審査会
4日 常任委員会連合審査会
5日 総務文教委員会
6日 民生産業委員会
13日 議会運営委員会
14日 本会議（第2日）
15日 本会議（第3日）
19日 常任委員会連合審査会
19日 議会運営委員会
19日 本会議（第4日）
19日 総務文教委員会
19日 議会報編集委員会



感じた。それは、政策提言をずるについても党派構成は、ある程度の政治的、社会的な意見、思想傾向といった方向性の整ったイデオロギー集団となるべきであり、代表質問はその上に成り立った意見陳述がされるべきと考えるからである。加賀市では、代表質問は行使されておらず、小矢部市についても党派を代表する質問事項の形成過程や党派での議論が希薄であることも感じた。一般質問との差異には当局側が神経を費やしていることを考えるに、当市においては慎重に考えるべき事項。3月定例会で次年度の予算提案がされる中で新規事業への取り組み施策に関してや、9月定例会で前年度決算の結果検証などは有効に議論すべきであると感じた。

市議会を傍聴してみませんか

第1回臨時会開催予定

5月10日(金)

第2回定例会開催予定

6月6日(木) 第1日 議案上程説明
6月7日(金)～11日(火) 各常任委員会で審査
6月20日(木) 第2日 一般質問
6月21日(金) 第3日 一般質問
(質問者が多い場合に開催)
6月25日(火) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局（TEL83-3505）へお問い合わせください。また、議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>



樋口 忠興（城内4）



万物躍動の春になりました。私は退職以来、体と脳の健康のために毎日ウォーキングと市立図書館で数種の新聞と雑誌を読むことを日課にしています。ウォーキングは春から秋までの晴れた日は白山のクロカンコースを、雨の日や冬期間は総合体

育館のランニングコースを歩きます。近頃は体育関係の施策に力を入れ総合体育館の定礎の揮毫をされた元市長小出弘氏を偲びながら歩いています。白山や総合体育館では小中学生の生き生きとした活動が見られます。激動の社会や学校の課題を子どもなりに受け止めながら「歯をくいしばり目標の達成に努力している姿」に力強い成長を期待しています。以前図書館協議会の委員をしていたとき「産経新聞を入れる・祝日の開館・開館時間の延長等」を要望していたことが実現されました。以前に比べ更に運営改善が進み、利用し易くなりました。関係者の多大なご尽力に感謝しています。

謝しています。近頃特に関心をもっている報道は社会の急激な変化や少子化等から「家族や家の在り方」がいろいろと議論されていることです。私も新聞やテレビを見ていて「ここまで来たか。」と思うことが多々あります。しかしこのような現状は、憲法や民法の教育がそれなりに浸みこんで来た結果だと感じています。私たちは共存のために、多様な考え方や生き方を互いに理解に努め、認め合い協力することが大切だと考えます。雨にも負けず雪にも負けず、社会の変化に自分なりに対応し「感謝と思いやりの心」をもって生活したいと思っています。

編集後記

3年続きの豪雪でしたが、ようやく待ちに待った春が来ました。この議会だよりが皆様の手元に届く頃には、桜が満開になっていることと思われます。大いに春を楽しみましょう。

